

食品業界向け

AI による外観検査の事例



Phoenix
Vision / Eye



VRain
Solution

【食品業界】 外観検査の重要性

食品業界では検査・検品作業が製造後や出荷前に必ず組み込まれています。

例えば「原材料」「加工」「成形」「包装」の工程ごとに異物確認や品質確認の検査が行われます。

各検査工程ごとの質も重要となっており、異物混入の見逃しや品質の低下がクレームに繋がり、企業のイメージを著しく下げてしまう要因になりかねません。

Phoenix Vision/Eye ではどのような検査工程でも高精度で安定的な検査が実施可能です。



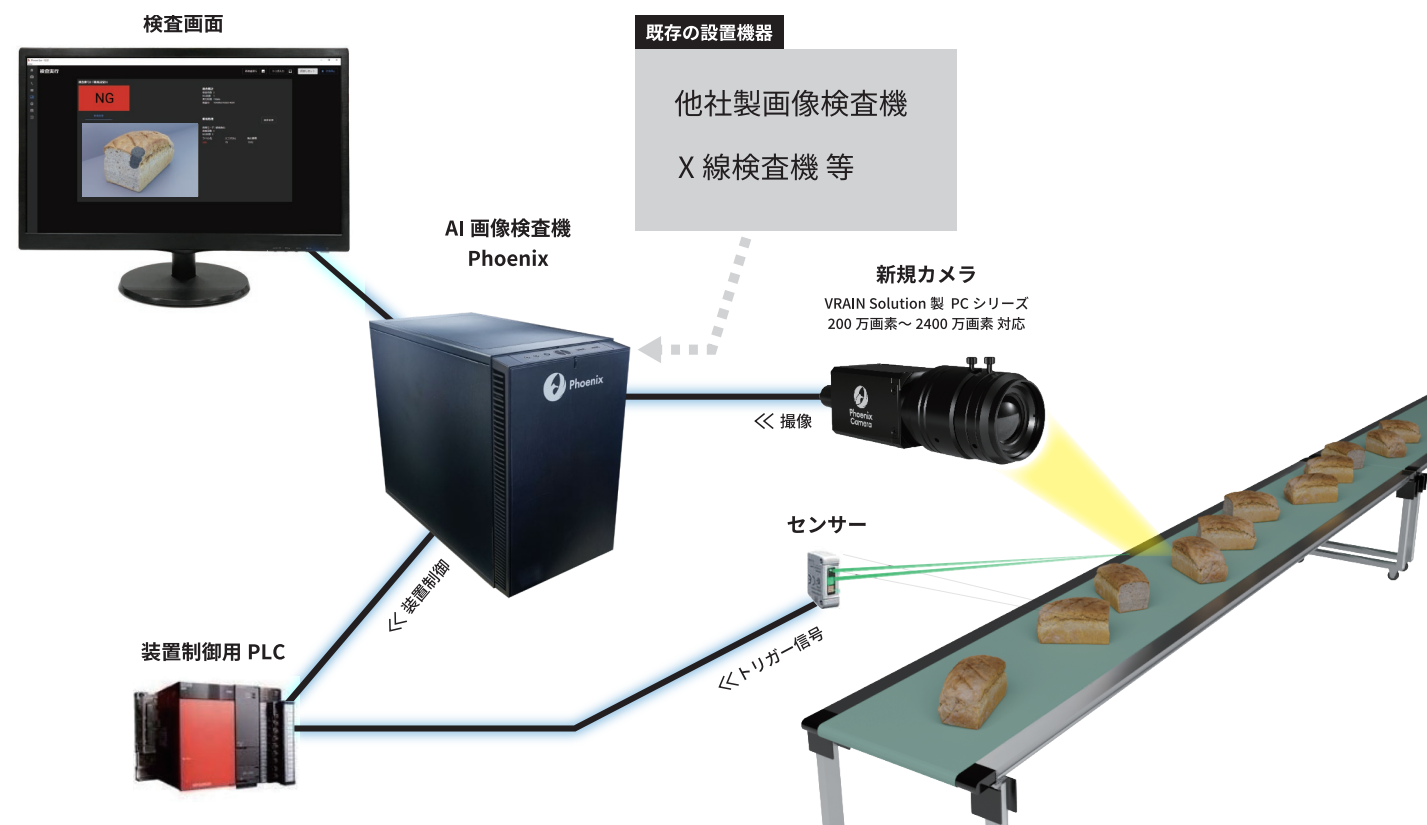
Phoenix Vision/Eye の特徴



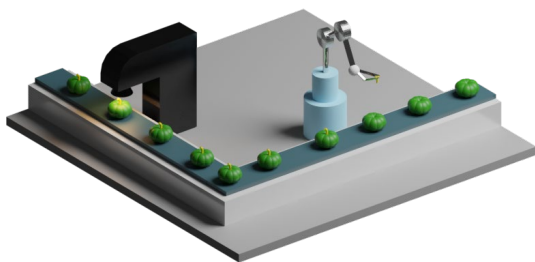
- 1 独自の AI アルゴリズムで高精度かつ安定した検査を実現できる
- 2 既存の設備（カメラ、照明、排出機構）と接続が可能のため、導入コストを抑えられる
- 3 AI アルゴリズム検査とルールベース検査の併用が可能で、検査内容に合わせて最適な検査方式を選べる

トータルソリューションでのご提案

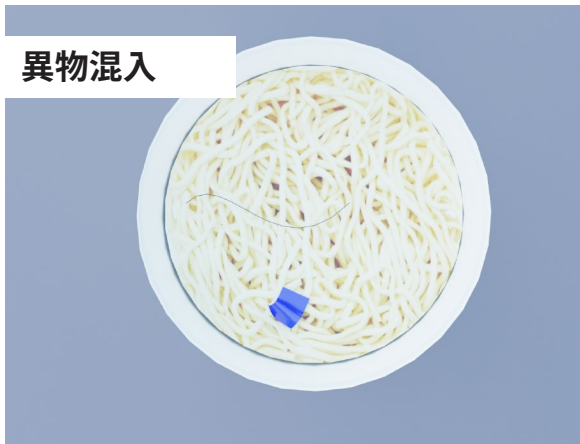
お問い合わせ	1
ヒアリング ワークテスト	2
報告・見積もり 作成	3
導入	4
運用支援	5



AI による外観検査の事例 食品業界



異物混入



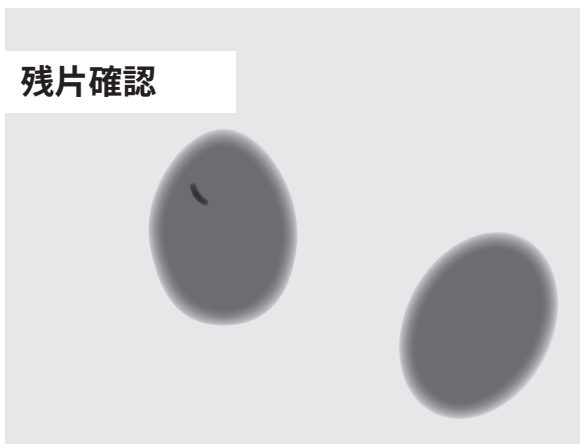
検査対象物とは異なる物体（ビニール、髪の毛、ガラス等）が混入していても、混入物の種類を特定し検出ができます。

焦げ、色



調理後に焦げ、生焼けがないかを検出します。また、良品と比べて焼きムラ、焦げムラがある場合でも検出できます。

残片確認



検査対象物の中に含まれている残片を X 線検査で特定します。濃度に差がなく、見えにくい微細な残片や異物でも検出できます。

包装確認



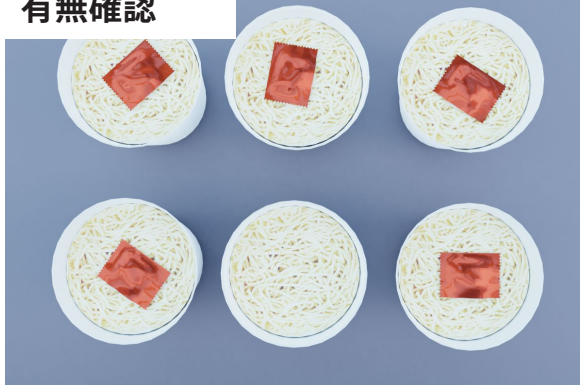
包装物に絵柄がある場合や透明な場合でも影響を受けずに、しわや噛み込みを検出できます。

割れ・欠け



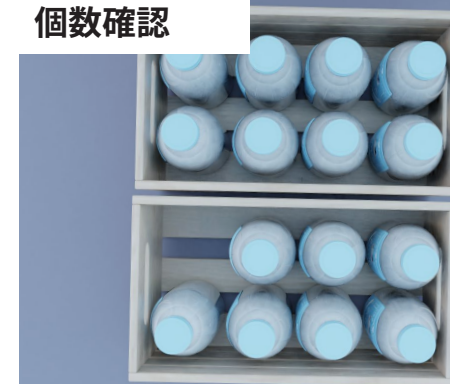
割れ・欠けの大きさ・数・深さ等が不定な場合や、それらが混在している場合でも検出できます。

有無確認



検査物が重なっていたり、一部しか見えないような場合でも、内容物が全て入っているか検出できます。

個数確認



製品の向きが一定でなく見え方が常に異なるような場合でも、製品が何個あるか検出できます。

異品種混入



検査対象物の特徴の一つひとつ捉え、色や形が似た異品種が混入していた場合でも、検出できます。

文字確認



容器に沿い変形している文字や、背景色と同系色で読み取りにくいような文字の場合でも、検出できます。

シール位置確認



製品に貼られたシールの位置ズレやはみ出し、それらが混在している場合でも、検出できます。



VRAIN
Solution

会社名	株式会社 VRain Solution
英文名	VRain Solution, Inc.
現住所	〒104-6117 東京都中央区晴海 1-8-11 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワー Y 17 階
TEL/FAX	03-6280-4915 / 03-6280-4916 (9:00~18:00)
HP	https://vrain.co.jp/